

研修受講者氏名	
本票ページ数	/

実施手順	評価項目	評価				
		()回目	()回目	()回目	()回目	()回目
		回数	月日	時間		
STEP4：準備	訪問時、第一回目の流水と石けんによる手洗いを済ませておく。 医師・訪問看護の指示を確認する。 利用者本人あるいは家族に体調を聞く。					
STEP5：実施	利用者本人から吸引の依頼を受ける。あるいは、利用者の意思を確認する。 吸引の環境、利用者の姿勢を整える。 鼻の周囲、鼻腔内を観察する。 流水と石けんで手洗い、あるいは速乾性擦式手指消毒剤で手洗いをする。 必要に応じきれいな使い捨て手袋をする。場合によってはセツジを持つ。 吸引カテーテルを不潔にならないように取り出す。 吸引カテーテルを吸引器に連結した接続管につなげる。 （薬液浸漬法の場合）吸引器のスイッチを入れ、水を吸って吸引カテーテルの先端を洗い流すとともに吸引カテーテルの周囲を洗う。 決められた吸引圧になっていることを確認する。 吸引カテーテルの先端の水をよく切る。 「吸引しますよ～」と声をかける。 吸引カテーテルを陰圧をかけない状態で鼻腔内の奥に入れる。 （吸引カテーテルを手で操作する場合）こよりを燃えるように左右に回転し、ゆっくり引き抜きながら吸引する。 一回で吸引しきれなかった場合は、吸引カテーテルの外側をアルコール綿で拭き取った後、洗浄水を吸って内側を洗い流してから、再度吸引する。 （薬液浸漬法の場合）使用済み吸引カテーテルは外側をアルコール綿で拭き取った後、水を吸って内側を洗い流してから、保存容器の消毒液を吸引カテーテル内に吸引する。 吸引器のスイッチを切る。 吸引カテーテルを接続管からはずし、破棄する。 （薬液浸漬法の場合）消毒液の入った保存容器におさまる。 手袋をはずす（手袋着用の場合）またはセツジをもちに戻し、手洗いをする。 利用者に吸引が終わったことを告げ、確認できる場合、だんがとれたかを確認する。 利用者の顔色、呼吸状態等を観察する。 体位を整える 吸引した物の量、性状等について、ふり返り確認する。					
STEP6：結果確認報告	吸引びんの廃液量が70～80%になる前に廃液を捨てる。 洗浄用の水や保存容器の消毒液の残りが少なければ取り換える。					
STEP7：記録、報告	評価票に記録する。ヒヤリハットがあれば報告する。					
アの個数 計						

*自由記載欄

()回目	
()回目	
()回目	
()回目	
()回目	